

津房探訪ツアー

「ことしの「津房探訪ツアー」は、「イモリ谷・春まつり」と連携する趣旨より、同日の4月29日、春まつり会場に隣接した南光寺の見学よりスタートし、西部集落の活性化に貢献しているスポットを巡りました。

一部区間の自動車搬送を除く約4キロメートルを徒歩で巡るかなりハードな行程でしたが、地区内外から参加の計23人は、ひとりの落伍者もなく無事巡ることができました。

南光寺境内では松本集落の皆さんによる菓子と甘茶のお接待を戴き、仁王さまの見学では地元のボランティアガイドの財前さん、最近脚光を浴びているフットパスの概要説明を荷宮さん、パン工房「パオパオ」さんの概要については金森さんと、順次お世話になったあと、最長行程となった小野グレープランドさんへの圃場へ徒歩で向かい、丹精込めて育てる逸品「シャインマスカット」栽培について小野剛臣さんからレクチャーを受け、付加価値の高い商品づくりの現場を見聞することができました。

最後のスポットはフラワーうさぎさんの圃場（ビニールハウス）の見学と、季節の花をアレンジする寄せ植え体験メニューで、オーナで、当協議会の会長でもある菅原維範氏の指導を受けながら各自制作の格安フラワーポットをゲットしました。

徒歩ツアーにはちよつと暑い一日でしたが、気持ち良い汗をかいたと好評のツアーとなりました。



いい汗かいています



シャインマスカットのビニールハウス内



参加者の集合写真



高齢者へのお弁当お届け

昨年3月に新しく取り組み、大変喜んで頂いた高齢者の方々への夕食お弁当のお届け事業ですが、ことしも同時期に行いました。

さまざまなイベントでお世話して頂く女性部会員と女性ボランティアGrを合わせた12人の方々のご協力により170食の豪華なお弁当を調理いただき、そして、全区長さんのご協力により該当世帯へお配りしました。

ご協力いただいた女性グループの方々とは区長さん方へ改めて御礼を申し上げます。

年一回というささやか贈りものですが、買い物や料理でひごころからご不便を感じておられる方々には大変喜んで頂ける事業ですから、今後も続け、拡大したい事業ですから、今期の事業計画にも組み入れています。



愛情を込め、一心不乱に調理盛りつけ作業中



ヘルシー、美味しそうなメニュー

津房少年消防クラブ結成

5月22日付け大分合同新聞の記事として大きく掲載されましたので、すでにご存じ方も多いと思われれますが、津房小学校の児童の有志8人で編成の「津房少年消防クラブ」が結成されました。

当津房地区を管轄する消防団・第20分団長の濱野俊久さん（六郎丸）の発起に基づくもので、宇佐市では最初の少年消防クラブの結成です。

子供のころから防災意識を育むことで、将来の地域防災を担う人材の育成に繋がればとの思いが込められており、まさに「地域づくり、まちづくり」の原点と言える取り組みです。

津房公民館での結成式は、濱野先生のほか、津小校長、市消防の本所、安心院方面隊長、津房区長会長、当協議会会長などの参席のもとで行われましたが、「おとなになったら地域を守っていききたい」と健気な決意表明をする児童が多く、参列のしていたおとなもホロリとさせられるシーンでした。

当クラブの活動を全面支援し、当協議会の活動も連携して行うよう、今期事業の項目に加えています。

消防本所管理職による教訓

当協議会会長より防災グッズの贈呈

津房温泉の運営管理事業のご報告

津房温泉の運営事業に関する平成29年度（29年4月～30年3月）の決算についてお知らせします。

【ご利用者数】	年間 47,294 人	（前年比 783 人の増加）
【収入の部】	施設利用料：7,398,200 円、市からの委託料その他：1,373,973 円	
	前期からの繰越金：642,284 円	合計 9,414,457 円・・・①
【支出の部】	人件費：4,190,737 円、需用費：3,494,323 円	
	その他：1,355,338 円	合計 9,040,398 円・・・②
【収支】	① - ② =	374,059 円の黒字
	（但し、29年度の単年収支については赤字 268,225 円）	

ご利用者数、利用料収入とも前年比微増でしたが、当協議会による運営事業は一般企業と同等の営利活動に該当するとの税務当局の判断により、過去5年間分の法人税、県・市民税を一括納付したため、単年度収支としては赤字決算となりました。

但し、累積繰越金で充当したため、運営事業としては黒字を確保しています。引き続き安定経営による地区民の健康づくりと、ふれあい交流のオアシスとして寄与できるよう、運営努力を重ねて参りますので、より一層のご利用をお願い致します。

新任・地域おこし協力隊員紹介



四月より宇佐市地域おこし協力隊として活動しております今野明花（このの さやか）と申します。

生まれも育ちも宮城県仙台市で、宇佐市とは地縁はございませんが、知人より宇佐市が良いところだと伺い、旅行で訪れて宇佐市の魅力に惹かれ、移住して参りました。前職は商業施設で接客の仕事をしていました。

この度こちらの津房地区まちづくり協議会の担当となり、既に四月よりお手伝いをさせて頂いております。お会いした方々にはとても親切にして頂き、毎日楽しくお仕事をさせて頂いております。

これからイベントなどで皆様とお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。